



▶ 問い合わせ 市民協働推進課 ☎0287(62)7019
市民編集委員/阿久津一志 菊地千恵 鈴木房代 柳場美枝子 和氣喜美子

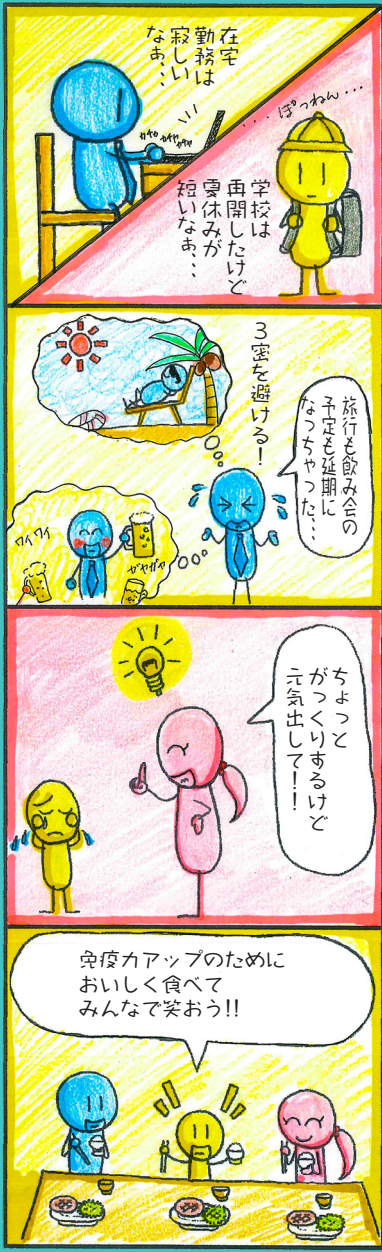
みいなとは…?

市では、男女が互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指して、広報紙「みいな」を年4回発行してきました。今月号から形態を変えて、隔月で広報なすしおばらで紹介します。



バックナンバー
はこちら

「新しい日常」



作:miina 絵:daisuke

理工チャレンジ「リコチャレ」

「リコチャレ」とは、理工系分野に興味・関心を持つ女子学生の進路選択(チャレンジ)を応援するため、内閣府が行っている取り組みです。今回、この取り組みに賛同し、市内の理工系分野で働く女性にインタビューを行いました。



おそざわ みやび
遅沢 雅 さん
出身校: 県立那須清峰高校建設工学科
勤務先: 有限会社阿久津左官店

今の仕事に興味を持ったきっかけ

中学2年生の時から、建設系の業界で生きていくと決めていました。理由は、祖父が型枠大工(建物の基礎を作る仕事)の建設会社を経営しており、休みの日に間近で祖父の仕事を見て、カッコいいなと思っていたからです。高校2年生の時に宇都宮で左官のインターンをした際に、「これだ!!」と思って左官になることを決めました。

理工系分野を学んだ高校生活について

特色選抜で入学をシクラス40人中、女子は6人だけでしたが、気になることはありませんでした。学校が楽しかったので、就職に向けた勉強も頑張ることができました。女子6人のうち半分は就職(左官業には2人就職)、半分は進学をしました。

夢を教えてください

私が住んでいる家は一人の大工さんが作り上げた土壁のおしゃれな家なんです。自分も一人前になってそのような家を作れるようになりたいです。

<先輩から一言>

家に入って行く仕事なので、女性がいると安心感が生まれます。男性のイメージが強い仕事だと思いますが、今はそういう時代ではありません。一人前になるのに10年かかる仕事と言われている業界に志を持って入ってきてくれたので、夢は大きく、技能五輪日本一を目指して頑張ってくださいね!

